

およそ**130種**、**1,416点**のウキヨエ鉢植えを**大公開!**

※前後期合わせ

特別展

ウキヨエ 植物大図鑑

「盆栽づくし」
を
楽しみつくす!

令和6年

2024年 9月21日(土) → 10月30日(水)

前期 9月21日(土)～10月9日(水) 後期 10月12日(土)～10月30日(水) ※全点展示替え

【休館日】木曜日 【休室日】10月11日(金)

【会場】さいたま市大宮盆栽美術館 企画展示室 【主催】さいたま市大宮盆栽美術館



さいたま市
大宮盆栽美術館

子どもも大人も楽しめる！ 1枚摺りの江戸植物図鑑！！



浮世絵版画の分類のひとつ「おもちゃ絵」に、「ものづくし絵」と呼ばれる一群があります。主に子ども向けに摺られた版画で、ある題材をテーマに、多くの種類を描き集めて図鑑のように一覧にした図です。たとえば、さまざまな鳥や動物の種類を集めた「鳥づくし」や「獣づくし」などのほか、江戸時代の園芸文化の流行を背景として、「植木づくし」や「鉢植えづくし」と題された鉢植え植物のものづくし絵も数多く作られました。鉢植えの傍らには植物名を記載する図が多く、楽しみながら絵を見て、植物も文字も学ぶことのできる子ども向け植物図鑑のような1枚摺りの版画です。

鉢植えづくしの植物は、いずれもよく知られた種類がほとんどですが、同時代の百科事典では地植えの状態や植物のみを描くのに対し、ものづくし絵では鉢植えによって表されています。このことは、当時の園芸植物の在り方を示すとともに、人々の生活に鉢植えが根付いていた実態をも明確に語っています。

本展では、個人収集家の所蔵品を中心に、調査の結果明らかとなったおよそ130種、総点数1,416点に及ぶ鉢植えが描かれたものづくし絵を主として、「ふ(富)」からはじまるおめでたい鉢植えを描いた有卦絵も取り上げ、植物の種類や特徴を個別的に、また総覧して“見て、知る”、ものづくし絵ならではの楽しみを紹介します。



守川周重「江戸風俗図 植木売り(仮題)」
明治10年代(1877~86)頃 個人蔵(後期)



歌川芳藤「草花植木づくし」
安政5年(1858)2月 個人蔵(後期)



歌川重宣「新板植きつくし」(校合刷)
弘化4年~嘉永5年(1847~1852) 個人蔵(前期)



歌川芳藤「しん板うゑ木づくし」
明治12年(1879)8月29日 個人蔵(前期)



歌川重宣(有卦絵)
安政5年(1858)4月 個人蔵(後期)

- 1章 植物大好き! 江戸園芸の大流行
- 2章 見る、知る、楽しむ! ビジュアル植物大図鑑
- 3章 「ふ」のつくものを探せ! 有卦絵のなぞ解き

イベント情報

特別展スライドトーク 出品作品の見どころをスライドを用いて紹介します。

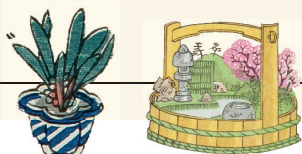
日時 9月21日(土)、10月6日(日) 両日も14時から15時まで

会場 大宮盆栽美術館ロビー

定員 20人(席数) **参加方法** 当日13時30分から先着順(聴講無料)

観覧料 一般 310円(200円)
 高大生・65歳以上 150円(100円) *障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は半額
 小中学生 100円(50円) * ()内は20名以上の団体料金

開館時間 9:00~16:30 *入館は16:00まで



交通案内

【電車利用】
 JR宇都宮線[土呂駅]下車 東口より徒歩5分
 東武アーバンパークライン[大宮公園駅]下車 徒歩10分

【車利用】
 首都高速埼玉新都心線[新都心西]出口より約6km
 東北自動車道[岩槻]出口より約9km
 駐車場: 一般車両39台(2時間まで無料)
 大型車3台(880円)、障害者用2台(無料)



さいたま市

大宮盆栽美術館

〒331-0804 さいたま市北区土呂町2-24-3
<https://www.bonsai-art-museum.jp>

TEL 048-780-2091
 FAX 048-668-2323



このイベントの開催に係る経費は2,020,000円です。